

## 第 4 次北海道食育推進計画（どさんこ食育推進プラン）の推進状況・評価について

方 針	取 組	ページ
方針 1 心身の健康を増進する健全な 食生活を実践するための食育 の推進	(1) 栄養バランスを考えた食事を実践する	1~2
	(2) 基本的な生活習慣を身に付け、規則正しい食生活を実践する	3~4
	(3) 高齢者の健康推進を強化する [重点事項]	5
方針 2 「食」に関する理解を深める 食育の推進	(1) 食と環境の関係を考え、行動する [重点事項]	7~8
	(2) 地域の食を知り、伝える	9~10
	(3) 地産地消の意義を知り、実践する	11~12
	(4) 食に関する情報を正しく理解する	13~15
方針 3 本道の食育推進体制の強化	(1) 農林漁業者など食に関わる関係者のネットワークを強化する [重点事項]	16
	(2) 食育を進める人材を育成・活用する	17
	(3) 食育を推進する基盤づくりを進める	18

令和 5 年 (2023 年) 7 月

北海道農政部

## 方針1 心身の健康を増進する健全な食生活を実践するための食育の推進

### (1) 栄養のバランスを考えた食事を実践する

推進施策	推進状況	評価(課題)
ア 乳・幼児期からの食育の推進	<p>【保健福祉部 地域保健課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○幼児向け指導媒体の普及               <ul style="list-style-type: none"> <li>・どさんこ3色食品群ポスター、どさんこ3色たべものカード、どさんこ3色たべものカード活用ブックのホームページ掲載 (通年)</li> </ul> </li> <li>○保育所、児童福祉施設での食育の推進促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食施設指導を通じた食育の推進促進 (通年)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の推進により、保育所や児童福祉施設では、各種媒体を活用した食育が図られた。</li> </ul>
イ 食生活に関する正しい知識の普及	<p>【保健福祉部 地域保健課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○北海道版食事バランスガイドの普及               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ掲載による普及啓発 (通年)</li> </ul> </li> <li>○北海道食事バランスガイド等普及啓発事業 (北海道食生活改善推進員協議会委託事業)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道版食事バランスガイドによる望ましい食習慣の普及啓発 (35回実施)</li> </ul> </li> <li>○ほっかいどうヘルスサポートレストラン推進事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・外食料理店でのメニューへの栄養成分表示、健康情報の提供等の取組の促進 (R5.3月末 750件)</li> </ul> </li> <li>○企業との連携による普及啓発               <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)セコマとの「野菜を食べようキャンペーン」の実施 (2回実施)</li> <li>・大塚製薬(株)とのポスターによる朝食摂取向上啓発の実施 (R4)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで対面式だった事業は、媒体を通じた非対面での普及啓発に切り替わった。</li> <li>・ここ数年の間に生活様式が変化したことにより、肥満等の課題が顕在化しつつある。</li> <li>・北海道の特産である牛乳を全世代にもっと摂取してもらうよう取り組む必要。(令和4年度第4回北海道食の安全・安心委員会)</li> </ul>
ウ 魚食の普及	<p>【水産林務部 水産経営課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○道産水産物の道内外学校給食への導入 (道産水産物魚食普及推進事業)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度 690千食 (道内 672千食、道外18千食)</li> <li>・令和3年度 1,328千食 (道内1,313千食、道外15千食)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の推進により前年度に引き続き増加が図られた。引き続き継続的な取組を実施する。</li> </ul>

<p>エ 学校給食を活用した食に関する指導の充実</p>	<p>【教育庁 健康・体育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○食育推進研究協議会の開催(R4.10.12)オンライン開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食を活用した食に関する指導について、実践発表、管理職・栄養教諭・養護教諭等による研究協議を実施</li> </ul> </li> <li>○第63回北海道学校給食研究大会（紋別大会）開催（集合形式）</li> <li>○地場産物を活用した食に関する指導の状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校98% 中学校96%</li> <li>〔令和4年度公立小・中学校体育・保健・安全に関する調査より〕</li> </ul> </li> <li>○栄養教諭による食に関する指導の状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校91% 中学校79%</li> <li>〔令和4年度公立小・中学校体育・保健・安全に関する調査より〕</li> </ul> </li> <li>・令和4年度 1,409千食（道内1,394千食、道外15千食）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「食育推進研究協議会」等については、今後も新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、集合、ハイブリッド、オンライン等、開催方法を工夫し実施することが必要。</li> <li>・食育を推進するための連携体制を整備している学校数が増加傾向となっている。</li> <li>・朝食欠食率が、前年度より上がったことから、朝食を毎日食べる等の正しい生活習慣に関する食育推進の充実を図るよう働きかけることが必要。</li> <li>・引き続き、地場産物を活用した食に関する指導及び栄養教諭による食に関する指導の充実を図るよう働きかけることが必要。</li> </ul>
<p>オ 若い世代や子育て世代向け料理教室等の開催</p>	<p>【農政部 食品政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○食育講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・振興局で、食育セミナーや勉強会の開催。</li> <li>・有機農業普及事業と連携し、有機大豆を利用した豆腐作りを体験するオーガニック学習会&amp;体験教室で食育の普及啓発を実施した。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代や子育て世代に対し、体験教室等を実施している。</li> <li>・オンラインで食育教室を実施しており、デジタルにより食育を広げる視点を取り入れるべき。（令和4年度第4回北海道食の安全・安心委員会）</li> </ul>
<p>カ スポーツと連携した食育の推進</p>	<p>【農政部 食品政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○(株)ファイターズスポーツ&amp;エンターテイメントによる北海道ボールパークの開設に当たり食分野の検討会議に参画し、スポーツへの関心と合わせ地産地消をはじめとする食育の推進に寄与できるよう働きかけた。（R4）</li> <li>○「北海道スポーツのみらいを拓く集い」で着ぐるみによる食育の啓発活動（R4）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設での地場食材の積極的な利用が図られるとともに、農業体験施設が設けられた。</li> <li>・「北海道スポーツみらい会議」やYou Tube配信など、広く発信できた。（消費者安全課）</li> <li>・肥満の解消には食だけでなく、運動も効果的。縦割りにとらわれず計画に記載すべき。（令和4年度第4回北海道食の安全・安心委員会）</li> </ul>

## 方針1 心身の健康を増進する健全な食生活を実践するための食育の推進

### (2) 基本的な生活習慣を身に付け、規則正しい食生活を実践する

推進施策	推進状況	評価(課題)
<p>ア 早寝早起き朝ごはん運動の推進</p>	<p>【教育庁 社会教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○毎年7～8月、12～1月を「早寝早起き朝ごはん」運動啓発強化期間と設定し、各種イベント等を実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル展、庁内啓発放送等</li> </ul> </li> <li>○子どもの望ましい生活習慣や学習習慣の定着に向けた「子どもの望ましい生活習慣・学習習慣定着研修事業」の実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度 14管内実施 参加者 1,999名</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各管内で研修事業を開催し、基本的な生活習慣定着への関心が高まった。</li> <li>・一方、児童・生徒が毎日朝食を取る割合は、依然全国平均に比べ、低い傾向にあるため、市町村教委、学校関係者、保護者等に向けた継続的な研修事業の取組により、引き続き啓発を図ることが必要。</li> </ul>
<p>イ 乳・幼児期からの食育の推進(再掲)</p>	<p>【保健福祉部 地域保健課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○幼児向け指導媒体の普及               <ul style="list-style-type: none"> <li>・どさんこ3色食品群ポスター、どさんこ3色たべものカード、どさんこ3色たべものカード活用ブックのホームページ掲載(通年)</li> </ul> </li> <li>○保育所、児童福祉施設での食育の推進促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食施設指導を通じた食育の推進促進(通年)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の推進により、保育所や児童福祉施設では、各種媒体を活用した食育が図られた。</li> </ul>
<p>ウ 歯・口腔の健康づくりの推進</p>	<p>【保健福祉部 地域保健課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○乳幼児の時から生涯にわたって歯を大切にする8020運動の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・むし歯予防のための保育所、学校等におけるフッ化物洗口実施に対する支援 実施市町村数：175 (R5年3月末)</li> <li>・「歯と口の健康週間」におけるイベント開催、各種広報媒体による普及啓発活動の実施 (R4)</li> <li>・歯・口腔の健康に関する図画・ポスターコンクールの開催 (R4)</li> <li>・親と子のよい歯のコンクール開催 (R元)                   <ul style="list-style-type: none"> <li>※新型コロナウイルス感染症の影響によりR2～R4中止</li> </ul> </li> <li>・高齢者の歯のコンクール開催 (R元)                   <ul style="list-style-type: none"> <li>※新型コロナウイルス感染症の影響によりR2～R4中止</li> </ul> </li> <li>・道民公開講座の開催 (R4)</li> <li>・「8020推進週間」におけるイベント開催、各種広報媒体による普及啓発活動の実施 (R4)</li> </ul> </li> <li>○その他、北海道歯科保健医療推進計画 (H30～R5) に基づく各種歯科保健対策の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により一部の事業は中止となったが、ハイブリッド方式を活用し開催できたものもあった。</li> <li>・今後についても関係団体等と連携し引き続き啓発の取組みを継続することが必要。</li> </ul>

<p>エ 生活習慣病の予防と改善</p>	<p>【保健福祉部 地域保健課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○健康づくり、生活習慣病予防に関する普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> <li>・道民健康づくりの日（10/3）などでのパネル展による普及啓発（R4）</li> </ul> </li> <li>○地域・職域連携推進連絡会による、生活習慣病予防の情報共有等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣の改善や予防に係る情報共有、取組に関する協議（R4：12圏域（集合開催×6、書面開催×6））</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、参集型の事業企画が難しい中、書面による情報伝達や媒体を通じた普及啓発が主な取組となった。</li> </ul>
<p>オ 学校・家庭・地域が連携、協働した食育の推進</p>	<p>【教育庁 健康・体育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○食育推進研究協議会の開催(R4.10.12)オンラインで開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、家庭、地域が連携・協働した食育の推進体制等に関する講演会の実施</li> </ul> </li> <li>○第63回北海道学校給食研究大会（紋別大会）(R4. 8. 2)開催（集合形式）</li> <li>○学校の管理職・学校給食共同調理場長を対象とした各種研修会、会議等における講師派遣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「食育推進研究協議会」及び「北海道学校給食研究大会」について、今後、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、集合、ハイブリッド、オンライン等、開催方法を工夫し実施することが必要。</li> <li>・食育を推進するための連携体制を整備している学校数が増加傾向となっている。（健康・体育課）</li> <li>・朝食欠食率が、前年度より上がったことから、朝食を毎日食べる等の正しい生活習慣に関する食育推進の充実を図るよう働きかけることが必要。</li> <li>・今後も、各種研修会や会議等に講師を派遣し、食育の推進を図っていくことが必要。</li> </ul>

## 方針1 心身の健康を増進する健全な食生活を実践するための食育の推進

### (3) 高齢者の健康推進を強化する 【重点事項】

推進施策	推進状況	評価(課題)
ア 高齢者の食育に関する理解促進・機運醸成	<p>【教育庁 社会教育課・農政部 食品政策課】</p> <p>○高齢者（シニア）向け食育講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度 3か所実施（講話及び調理実習）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者（シニア）向け食育講座の開催を通じて、高齢者の食育に関する理解や機運が高まった。</li> </ul>
イ 歯・口腔の健康づくりの推進（再掲）	<p>【保健福祉部 地域保健課】</p> <p>○乳幼児の時から生涯にわたって歯を大切にする8020運動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・むし歯予防のための保育所、学校等におけるフッ化物洗口実施に対する支援 実施市町村数：175（R4年3月末）</li> <li>・「歯と口の健康週間」におけるイベント開催、各種広報媒体による普及啓発活動の実施（R4）</li> <li>・歯・口腔の健康に関する図画・ポスターコンクールの開催（R4）</li> <li>・親と子のよい歯のコンクール開催（R元）</li> <li>※新型コロナウイルス感染症の影響によりR2～R4中止</li> <li>・高齢者の歯のコンクール開催（R元）</li> <li>※新型コロナウイルス感染症の影響によりR2～R4中止</li> <li>・道民公開講座の開催（R4）</li> <li>・「8020推進週間」におけるイベント開催、各種広報媒体による普及啓発活動の実施（R4）</li> </ul> <p>○その他、北海道歯科保健医療推進計画（H30～R5）に基づく各種歯科保健対策の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により一部の事業は中止となったが、ハイブリッド方式を活用し開催できたものもあった。</li> <li>・今後についても関係団体等と連携し引き続き啓発の取組みを継続することが必要。</li> </ul>

(続く)

## 方針2 「食」に関する理解を深める食育の推進

### (1) 食と環境の関係を考え、行動する 【重点事項】

推進施策	推進状況	評価(課題)
<p>ア 食品ロス削減に向けた「どさんこ愛食食べきり運動」の推進</p>	<p>【環境生活部 消費者安全課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○北海道立消費生活センター1階展示ホールにおける食品ロス啓発パネルの展示</li> <li>○地方消費者協会主催の消費生活展などへの食品ロス啓発パネルの貸出</li> </ul> <p>【保健福祉部 食品衛生課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○関係生活衛生同業組合に対し、「どさんこ愛食食べきり運動」への協力依頼を実施。</li> </ul> <p>【教育庁 健康・体育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○未利用食品のフードバンクへの寄付の促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の臨時休業に伴う学校給食の休止等による食品廃棄を削減する取組</li> </ul> </li> <li>○「学校給食における適切な栄養管理に向けた取組」(平成28年7月13日付け健康・体育課長通知)に基づく、栄養管理と食に関する指導の充実への取組の促進及び指導助言</li> <li>○学校給食コンクールの開催               <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養教諭、学校給食調理員等を対象とし、「地域自慢の『ほっかいどう満載』レシピ!～道産食材を、適度な塩分でおいしく食べよう～」をテーマに給食コンクールを実施</li> </ul> </li> </ul> <p>【経済部 中小企業課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○経営改善のための食品ロス軽減の取組について、企業のニーズに応じ相談に対応</li> <li>○当課発行の支援機関向けメールマガジンで食べきりキャンペーンについて発信し、支援先等への周知を依頼</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品ロス啓発パネルの展示及び貸出により、道民への普及啓発を行うことができた。</li> <li>・関係団体の協力により事業者及び消費者に啓発</li> <li>・引き続き、急な学校給食の休止等において食品廃棄状況を把握し、有効活用するよう呼びかけていくことが必要</li> <li>・引き続き、栄養管理と食に関する指導の充実を図るため、適切な指導助言を行っていくことが必要。</li> <li>・学校給食コンクールを行い、受賞献立のレシピをホームページ、クックパット等へ掲載し広く周知した。このことにより、地場産物活用に対する関心が高まった。</li> <li>・メールマガジンを活用したことで、これまでよりも多くの機関に周知することができた。</li> </ul>



	<p><b>【農政部 食品政策課】</b>  ○道民に対する普及啓発  ・民間事業者等と連携した普及啓発やデジタルデータ放送、ホームページ、パネル展等で「どさんこ愛食食べきり運動」をPR  ・食品ロス削減セミナー開催 令和4年度1回(会場、オンライン併用)  ・消費者向け学習会 令和4年度1か所 講演会等対応 9か所  ・食品ロス削減月間(10月)の実施  ・宴会時の食べきりキャンペーン(12～1月)の実施  ○大学等における普及啓発  ・高校、大学等で食品ロスに関する出前講座 令和4年度1か所  ○どさんこ食べきり協力店 登録店舗数:2,306店舗(令和4年度末現在)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品ロスは、事業系、家庭系の双方から発生しており、その削減に向けては、消費者や食品関連事業者等、関係機関・団体など様々な道民の方々が主体的にそれぞれの役割を理解し実践することが重要であり、計画に沿って取組を周知することが必要。</li> </ul>
イ 3Rの普及啓発活動	<p><b>【環境生活部 循環型社会推進課】</b>  ○3Rハンドブックの作成、3R推進フェア、3Rキャンペーン(各振興局)の開催、啓発資材・PRポスターの作成(食品ロスに係る取組をあわせて啓発)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3R(ごみの排出抑制やリサイクル)とあわせて食ロスの削減について啓発できた。</li> </ul>
ウ 環境教育の推進	<p><b>【環境生活部 環境政策課】</b>  ○道民一人ひとりが環境問題を身近なものとして受け止め、環境に配慮した行動の実践へと結びつけることができるよう、参加・体験型の環境教育機会の提供や環境教育の指導者育成研修等を行った。(環境の村事業費)  令和4年度  環境教育の指導者育成研修 : 2回  参加・体験型の環境教育機会の提供 : 1回</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度からオンラインでの開催に切り替えたことにより、全道各地からの参加が可能となった。</li> </ul>
エ クリーン農業や有機農業に対する理解の促進	<p><b>【農政部 食品政策課】</b>  ○クリーン農業や有機農業に関するパンフレットの配付  ○クリーン農業イメージキャラクター「ハタケダ博士&amp;くりんだね」を活用した啓発活動  ○消費者等を対象とした出前講座の実施  ○クリーン農業を広くPRする道庁パネル展を開催  ○道立農業大学校等においてクリーン農業や有機農業に関する講義を実施  ○有機農産物のPR販売等のイベントの実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パンフレットの配布、パネル展や教育機関での出前講座により、消費者等にクリーン農業の取組についてPRすることができた。</li> </ul>

## 方針2 「食」に関する理解を深める食育の推進

### (2) 地域の食を知り、伝える

推進施策	推進状況	評価(課題)
<p>ア 農林漁業体験活動の促進、支援</p>	<p>【農政部 食品政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○食育ファーム登録農場数</li> <li>・令和4年度 24農場（うち休止1農場）</li> </ul> <p>【農政部 農村設計課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○グリーン・ツーリズム関連施設</li> <li>・令和3年度 2,488施設</li> <li>○農村ツーリズム推進の取組</li> <li>・取組地域の掘り起こしや意識醸成を図る地域関係者との現地意見交換を実施</li> <li>・国との共催により国の「農泊」に係る交付金の活用に向けた説明会を開催</li> <li>・効果的な情報発信の技術向上やコンテンツ開発の支援に係る農泊推進セミナーを開催</li> <li>・関係機関や農泊地域間の連携強化や裾野拡大を図る北海道農泊推進ネットワーク会議を開催</li> <li>・取組地域や実践者のネットワーク化を図る研修会を開催</li> </ul> <p>【農政部 農政課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ふれあいファーム（草の根交流促進事業）</li> <li>・令和4年度末現在 774農場（前年度▲20）</li> <li>○農業者（ふれあいファーム又はふれあいファームを含む団体）自らが行う農業体験等の実践活動への支援（草の根交流促進事業）</li> <li>・令和4年度 4団体を支援</li> </ul> <p>【教育庁 健康・体育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○栄養教諭の新任者を対象として、農業者宅で農業体験等を行う研修を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育ファームの登録農業の確保が課題となっていることから、制度について一層の周知が必要。</li> <li>・受入農家の確保が課題となっている。</li> <li>・農村の活性化を図るため、引き続き農村ツーリズムの取組が必要である。</li> <li>・ふれあいファームの登録農場の確保が課題となっている。</li> <li>・引き続き、新型コロナウイルス感染状況を鑑み農業等に理解できるような研修内容の充実を図ることが必要。</li> </ul>

	<p><b>【水産林務部 水産経営課】</b>  ○北海道漁業士会による出前授業の実施  ・令和4年度 4回  ○もっと知って→もっと食べよう！北海道のさかなたち  ・道内の小中学校や消費者団体などからの要請に基づき、職員が直接小中学校等へ出向き、水産業・漁村に関する講座を開催する。  ・令和4年度 81件 3,148名</p> <p><b>【水産林務部 森林活用課】</b>  ○木育マイスターの育成  ・令和4年度 24名 ※累計323名（平成22年度～）  ○子育て支援と木育・食育に関する普及啓発イベントの開催  ・令和4年度 3地域（渡島、空知、胆振）  ○北海道漁業協同組合連合会が漁協女性部や市町村と連携して行う森林づくり活動への支援  ・令和4年度 5地域（留萌、日高、オホーツク、釧路、根室）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全般的にはコロナ禍以前の水準に回復したものの、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた感染防止対策を行いながら、食育活動を実施する必要がある。</li> <li>・木製の食器づくり体験等を通じて、木と食との繋がりへの関心が高まった。</li> </ul>
イ 研究所における視察の促進	<p><b>【経済部 食産業振興課】</b>  ○北海道立総合研究機構食品加工研究センターや道立地域食品加工技術センター（十勝圏、オホーツク圏）で、視察者に対してセンターの取組を説明するとともに、センターが関わった食品製造業者等の取組を紹介</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の説明を継続的に行うことで、引き続き地域の食への理解を深めることが必要。</li> </ul>
ウ 食文化の継承	<p><b>【農政部 食品政策課】</b>  ○北海道らしい食づくり名人の登録者数  ・令和4年度末 154名（うち伝承名人48名）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録者数は伸びていないため、制度説明を継続的に行うことが必要。</li> <li>・北海道の食文化とは何か、作り上げていくときに来ている。（令和4年度第4回北海道食の安全・安心委員会）</li> </ul>

## 方針2 「食」に関する理解を深める食育の推進

### (3) 地産地消の意義を知り、実践する

推進施策	推進状況	評価(課題)
<p>ア 地産地消の促進</p>	<p><b>【農政部 食品政策課】</b>            ○地産地消の推進            ・北のめぐみ愛食運動道民会議の開催 (R5. 2. 9)            ・北のめぐみ愛食レストランの認定 令和4年度末 320店            ・市町村地産地消推進計画の策定 令和4年度末 122市町村            ・北海道米の道内食率 令和4年米穀年度 90%            ・道民の小麦需要に対する道産小麦活用率 令和3年度 51%            ・道産小麦に関するリーフレットの配布            ・道産小麦消費拡大に向けたイベント等の実施            ・北海道産食材お取り寄せガイドの作成            ・各種イベント等における啓発活動の実施            ・「どんどん食べよう北海道 地産地消を応援！」ポスターコンテストを実施(R4)            ・近年、道内で栽培が拡大し、今後新たな戦略作物となる可能性を有する新顔作物(にんにく、さつまいも、らっかせい)について、道内飲食店でのメニューフェアや北海道どさんこプラザにおける催事販売を開催(R4)            ・Facebookページ「どんどん食べよう北海道」を活用して、北海道の食に関する情報を発信</p> <p><b>【水産林務部 水産経営課】</b>            ○青年部による出前授業の実施 令和4年度 12件            ○女性部による浜の母さん料理教室の実施 令和4年度 9件</p> <p><b>【水産林務部 林業木材課】</b>            ○北海道産きのこのブランド力を高め、産地間競争での優位性を確保するとともに生産技術の向上と安定したきのこ生産体制の構築を促進し、消費の拡大を図るために開催された「第17回北海道きのこ品評会」(R4. 11. 1)を後援し、生産者団体と連携することにより、きのこをPRした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北のめぐみ愛食レストラン認定店舗を1件認定。</li> <li>・ポスターコンテストや、新顔作物のメニューフェアや催事販売を通じて、消費者向けに地産地消のPRができた。</li> <li>・地域の消費者協会で、地域の食材を活用した料理レシピ本を作成。こうした取組を全道各地に広げられるとよい。(令和4年度第4回北海道食の安全・安心委員会)</li> </ul> <p>・新型コロナウイルスの影響により、十分な活動ができなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地のきのこ生産者から68点の出品があり、生産者としての技術向上の意欲が高まった。</li> <li>・また、出品物は翌日に開催された「北海道きのこフェスティバル」会場で展示され、一般道民に広く周知し、良質で安全・安心な道産きのこの消費拡大にも貢献した。</li> </ul>

<p>イ 学校給食を 活用した食に 関する指導の 充実</p>	<p><b>【教育庁 健康・体育課】</b></p> <p>○ 北海道学校給食コンクールの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域で実施されている特色ある地場産物を活用した献立を募集し、コンクールを実施</li> <li>・道教委ホームページ及びクックパッドに掲載</li> <li>・北海道議会食堂でコンクール受賞メニュー提供。</li> </ul> <p>○ 学校給食における地場産物(道産食材)の活用状況(食品数ベース)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度48.2%(隔年調査のためR4数値なし)</li> </ul> <p>○ 地場産物を活用した食に関する指導の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校98% 中学校96%</li> </ul> <p>[令和4年度公立小・中学校体育・保健・安全に関する調査より]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道学校給食コンクールのテーマ、応募方法及び開催方法を工夫し実施することが必要。また、学校給食のレシピが広く活用されるよう工夫することが必要。</li> <li>・地場産物の使用促進と合わせて地場産物を活用した食に関する指導が積極的に行われるよう働きかけることが必要。</li> </ul>
---	--	--

## 方針2 「食」に関する理解を深める食育の推進

### (4) 食に関する情報を正しく理解する

推進施策	推進状況	評価(課題)
<p>ア 食品表示等に関する法律や制度の普及啓発</p>	<p><b>【環境生活部 消費者安全課】</b>            ○「食品表示制度セミナー」を開催            テーマ 遺伝子組換え表示制度について            食品表示制度等について            ～米トレーサビリティ制度、牛トレーサビリティ制度、            原料原産地表示制度、水産流通適正化制度のポイント～            場 所：6会場（札幌市、函館市、旭川市、北見市、帯広市、釧路市）のほか、オンラインでも開催した</p> <p><b>【保健福祉部 食品衛生課】</b>            ○食品衛生法及び食品表示法            ・パンフレット等の配布、各種イベント等による啓発活動            ○北海道HACCP自主衛生管理認証制度            ・令和4年度（2022年度）末            認証施設 累計396施設（前年度+37）            認証食品群 累計466食品群（前年度+43）            ・ガイドブック等の配布、各種イベント等による啓発活動、「ハサップくん」による啓発</p> <p><b>【保健福祉部 地域保健課】</b>            ○健康増進法及び食品表示法（保健事項）に係る普及と相談等対応            ・パンフレット等の配付、表示に係る相談対応（R4）</p> <p><b>【経済部 食産業振興課】</b>            ○北海道食品機能性表示制度・認定品のPR            ・SNS等の活用            ・展示会等への出展            ・ヘルシーDフェアの開催</p>	<p>・セミナーに参加した食品関連事業者や消費者の食品表示制度に関する理解につながった。</p> <p>・北海道HACCP自主衛生管理認証制度に対する消費者等の認知度を向上させるため、継続的な啓発活動が必要。</p> <p>・他課と連携し、対応することができた。</p> <p>・継続的な制度、認定品のPRにより、引き続き食への理解を深めることが必要。</p>

	<p><b>【農政部 食品政策課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○道産食品独自認証制度 令和4年度末 認証 14品目37商品 (16社)</li> <li>○道産食品登録制度 令和4年度末 登録 364商品 (129社)</li> <li>○YES!clean表示制度 令和4年度末 49品目225集団</li> <li>○有機JAS規格 有機JAS認証農家 令和4年度末 332戸 (道内)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道産食品独自認証制度に対する消費者等の認知度を向上させるため、継続的な啓発活動が必要。</li> <li>・YES!clean表示制度については、①気候変動に伴う病虫害の発生増加等により基準内での栽培が困難、②高齢化による構成員の減少等の理由による登録集団の減少が課題。</li> </ul>
<p>イ その他食に関する情報の提供</p>	<p><b>【農政部 農政課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○農業・農村情報誌「confa」の発行（草の根交流促進事業） <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度 年2回（各3万部）発行</li> </ul> </li> <li>○農業団体、消費者団体、経済団体等で組織する団体がマスメディア等を活用して取り組むPR活動への支援（コンセンサスづくり活動推進事業） <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度 1団体を支援</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【水産林務部 水産経営課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○HP掲載による理解促進 「ほっかいどうお魚マップ」、「北海道お魚図鑑」</li> <li>○SNSの活用による理解促進 「どさんぎょ（北海道の水産情報発信）」（Facebook）</li> </ul> <p><b>【農政部 食品政策課】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○リスクコミュニケーションの効果的な実施</li> <li>○北海道食の安全・安心ポータルサイトなどホームページやメールマガジンを活用した食に関する情報の継続的な提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業・農村情報誌「confa」について、若年層の読者を増やすことが課題となっている。</li> <li>・令和2年よりFacebookページを開設し、週1回以上の投稿頻度で水産物の情報等を発信している。今後もHPやSNS媒体を活用し、より効率的に情報を発信していく。</li> <li>・6,700人超の登録者に月3回メールマガジンを配信し、一定のPRができている</li> </ul>

推進施策	推進状況	評価(課題)
ウ クリーン農業や有機農業に対する理解の促進(再掲)	<b>【農政部 食品政策課】</b> ○クリーン農業や有機農業に関するパンフレットの配付 ○クリーン農業イメージキャラクター「ハタケダ博士&くりーんだね」を活用した啓発活動 ○消費者等を対象とした出前講座の実施 ○クリーン農業を広くPRする道庁パネル展を開催 ○道立農業大学校等においてクリーン農業や有機農業に関する講義を実施 ○有機農産物のPR販売等のイベントの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレットの配布、パネル展や教育機関での出前講座により、消費者等にクリーン農業の取組についてPRすることができた。</li> </ul>
エ 学校給食を活用した食に関する指導の充実(再掲)	<b>【教育庁 健康・体育課】</b> ○食育推進研究協議会の開催(R4.10.12)オンライン開催 ・学校給食を活用した食に関する指導について、実践発表、管理職・栄養教諭・養護教諭等による研究協議を実施 ○第63回北海道学校給食研究大会(紋別大会)開催(集合形式) ○地場産物を活用した食に関する指導の状況 ・小学校98% 中学校96% [令和4年度公立小・中学校体育・保健・安全に関する調査より] ○栄養教諭による食に関する指導の状況 ・小学校91% 中学校79% [令和4年度公立小・中学校体育・保健・安全に関する調査より]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「食育推進研究協議会」等については、今後、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、集合、ハイブリッド、オンライン等、開催方法を工夫し実施することが必要。</li> <li>・食育を推進するための連携体制を整備している学校数が増加傾向となっている。</li> <li>・朝食欠食率が、前年度より上がったことから、朝食を毎日食べる等の正しい生活習慣に関する食育推進の充実を図るよう働きかけることが必要。</li> <li>・引き続き、地場産物を活用した食に関する指導及び栄養教諭による食に関する指導の充実を図るよう働きかけることが必要。</li> </ul>



### 方針3 本道の食育推進体制の強化

#### (1) 農林漁業者など食に関わる関係者のネットワークを強化する 【重点事項】

推進施策	推進状況	評価(課題)
ア 食育推進ネットワークの強化	<b>【農政部 食品政策課】</b> ○各振興局における食育推進ネットワークの構成団体に、新たに食づくり名人、農業者・漁業者（青年部・女性部）、農業協同組合、漁業協同組合、管理栄養士、栄養教諭、民間事業者など食に関わる人材を加えネットワークが強化された。	・引き続きネットワークを広げ取組ををを図ることが必要。
イ 地域におけるネットワーク構築の支援	<b>【農政部 食品政策課】</b> ○地域の特性を生かした食育を進めるため、市町村を中心とした地域における関係者間のネットワークの構築等に対する支援を行った。	・市町村での食育活動への支援の継続が必要。
ウ 食育の推進に資する会議の開催	<b>【農政部 食品政策課】</b> ○どさんこ食育推進会議の開催 令和4年度 令和5年2月9日 ○食育推進連絡会議（幹事会）の開催 令和4年度 令和4年10月18日 ○振興局段階のネットワーク会議の開催 年1回程度開催	・情報共有等を行うため、毎年度開催している。
エ 民間団体、事業者と連携した取組の推進	<b>【農政部 食品政策課】</b> ○ポスター掲示などで企業と連携し、普及活動を実施した。	・継続が必要。

## 方針3 本道の食育推進体制の強化

### (2) 食育を進める人材を育成・活用する

推進施策	取組の内容	評価(課題)
ア 栄養教諭や食育の指導者の資質向上	<p>【教育庁 健康・体育課】 ○道教委主催の栄養教諭等を対象にした研修の実施</p> <p>【保健福祉部 地域保健課】 ○食育に関わる指導者の研修 ・行政管理栄養士・栄養士に対する研修 (R3:延べ11回) ・給食施設の管理栄養士・栄養士、調理師に対する研修 (R3:延べ16回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き栄養教諭等を対象として研修の充実に努める必要がある。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響下にあっても、書面やwebに切り替えて、研修事業が再開されつつある。</li> </ul>
イ 高等学校における食に関する人材の育成	<p>【教育庁 高校教育課】 ○食に関する科目を設置している高等学校 ・令和4年度 137校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高等学校の必修科目「家庭基礎」、「家庭総合」のほか、食に関する科目において、食育を推進している。</li> </ul>
ウ 北海道食育推進優良活動表彰の実施	<p>【農政部 食品政策課】 ○北海道食育推進優良活動表彰 応募者数及び表彰者数 ・令和4年度 応募者数6件 表彰者数 4件</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>応募数が減少しており、応募数を増加させることが課題</li> </ul>
エ 北海道食育コーディネーターの派遣	<p>【農政部 食品政策課】 ○派遣件数 ・令和4年度 6件</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の後、派遣件数は徐々に増加傾向にある。</li> </ul>
オ 「北海道らしい食づくり名人」の登録・活用の促進	<p>【農政部 食品政策課】 ○食づくり名人の登録者数 ・令和4年度末 154名 (うち伝承名人48名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1増1減で登録者数が変わらなかった。制度の周知が必要。</li> </ul>

## 方針3 本道の食育推進体制の強化

### (3) 食育を推進する基盤づくりを進める

推進施策	推進状況	評価(課題)
ア 市町村食育推進計画の作成促進	<b>【農政部 食品政策課】</b> ○市町村食育推進計画の策定市町村数 ・令和4年度末 140市町村	・計画を策定する市町村は増加しているが、地域差が見られる。
イ 食に関する指導の全体計画等の改善・充実など	<b>【教育庁 健康・体育課】</b> ○食に関する指導の全体計画の作成状況 ・小学校100% 中学校100% ○食に関する指導の年間指導計画の作成状況 ・小学校100% 中学校98% [令和4年度公立小・中学校体育・保健・安全に関する調査より]  <b>【保健福祉部 子ども政策企画課】</b> ○国の「保育所保育指針」に基づき、保育所において食育を推進しているか、指導監査において確認(振興局で実施)	・引き続き、食に関する指導の全体計画等の改善、充実を図ることが必要。  ・各保育所等において、保育指針に基づき、食育の環境の整備等が図られている。
ウ 食育の推進に資する会議の開催(再掲)	<b>【農政部 食品政策課】</b> ○どさんこ食育推進会議の開催 令和4年度 令和5年2月9日 ○食育推進連絡会議(幹事会)の開催 令和4年度 令和4年10月18日 ○振興局段階のネットワーク会議の開催 年1回程度開催	・情報共有等を行うため、毎年度開催している。
エ 食育関連情報の発信の強化	<b>【農政部 食品政策課】</b> ○食育ホームページ「元気もりもり!どさんこの食育」の活用 ○6月食育月間や地域の食生活のイベントにおいてパネル展の実施 ○食育DVDの貸し出し ・お子様向け食育DVD 4種類 ・子育て世代及び中高年世代向け食育DVD 2種類 ・小中高生向け食育DVD 3種類 ・一人暮らしの大学生及び中高年向け食育DVD 2種類	・DVD等の活用などにより、食育の情報発信や、啓発等に努めた。